

第二種電気工事士(筆記)試験講座

「第二種電気工事士」の資格取得を目指しておられる方に、電気協会発行の書籍等を使用して2日間にわたり、経験豊富な講師が、ポイントをわかりやすく、かつ丁寧に解説します。
 ※「第二種電気工事士(実技)試験講座」も開催いたしますので、合わせてご活用下さい。



「第二種電気工事士」試験は、「筆記」「技能」の2段階で実施されます。
 ・年2回(上期・下期)
 ・筆記試験：四肢択方式(マークシート)
 ※合格の場合、次の試験免除可能
 ・技能試験：実技による。
 ※事前に公開されている候補問題から出題



「第二種電気工事士」を取得すると一般住宅や店舗等の600V以下で受電する設備の電気工事に従事出来ます。また、免状取得後に3年以上の実務を経験または認定講習を受講し、監督部へ申請して「認定電気工事従事者認定証」の交付を受ければ、更に従事出来る範囲が広がります。



【実施例】

【1日目】

内 容	備 考
<ul style="list-style-type: none"> 電気に関する基礎理論 <ul style="list-style-type: none"> 電線の電気抵抗 直流回路の電流・電圧・抵抗を求める問題 直流回路の電力・電力量・熱量を求める問題 交流電気回路 単位・記号に関する問題 	
<ul style="list-style-type: none"> 配電理論および配電設計 	
<ul style="list-style-type: none"> 配電理論および配電設計 	
<ul style="list-style-type: none"> 検査方法 <ul style="list-style-type: none"> 試験および測定方法 各種試験の目的と検査用器具 	
<ul style="list-style-type: none"> 保安に関する法令 <ul style="list-style-type: none"> 電気事業法 電気工事士法および電気工事業の業務の適正化に関する法律 電気用品安全法 	

【2日目】

内 容	備 考
<ul style="list-style-type: none"> 電気機器・配線器具・電気工事用材料・工具 電気工事の施工方法 	
<ul style="list-style-type: none"> 一般配線 機器・照明器具 コンセント スイッチ(点滅器) 開閉器・計器・分電盤等 	
<ul style="list-style-type: none"> 測定器 電気工事用の材料・工具等電技・電技の解釈 電線の終端接続と器具への結線 配線の心線図 	

(注)内容の一部が変更となる可能性があります。

※詳細は約3ヶ月前を目途にホームページ等でご案内いたします。

受付中の講習会はこちら⇒ <https://www.jea-chugoku.jp/kosyu/ichiran.php>